

平成27年度第2回技術者研鑽セミナー報告

島根県 建設部門

氏名 田中秀典

所属 中国支部



10月24日(土)に平成27年度 第2回技術者研鑽セミナーが第3ウエノヤビル8階会議室で行われましたので、報告いたします。

1)「東日本大震災における電気設備の復旧について」 保坂 智行(日本製紙株式会社)

講演者の保坂氏から、日本製紙株式会社石巻工場の電気設備の復旧についてご講演いただきました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって、日本製紙株式会社の石巻工場、岩沼工場、勿来工場の3工場が被災しましたが、石巻工場を除き5月に復旧したそうです。これは、石巻工場は高さ7.7mの津波の被害を受けて、電気設備のほとんどが浸水してしまったために復旧に時間がかかったとのことでした。ただ、電気設備の復旧に関しては、ケーブル関係を復旧することにより、ケーブルを全部更新した他社より6ヶ月ほど早く工場の操業再開ができたとのことでした。保坂氏ご自身の経験から、災害からの復旧においては、①復旧の方向性、操業再開日程などの決定を早くすること、②関係者(担当者、施工業者、メーカー)と連絡を密にして、一体感をもって行うこと、③精神的、体力的にハードなので、体調管理、安全管理には十分注意すること必要と

いう3点がポイントとして紹介されました。この3ポイントは、近い将来発生すると想定される南海道地震の被害から復旧する際の参考になると思いました。



2)「(コミュニケーション能力開発)ファシリテーションについて」 亀田 雄二(建設部門)

修習技術者支援委員長の亀田氏によるファシリテーションの大まかな説明の後、参加者が5人程度の3グループにわかれ、ファシリテーションのワークショップを行いました。最初に各メンバーが簡単な自己紹介をした後、グループで各メンバーから悩みをいくつか出してもらいました。そして、出してもらった悩みから、テーマを決めて、①理想の姿、③今まで、現在やっていること、③これから1%upのためにやれること・アイデア、④宣言について、各グループで話し合いをしながら、画用紙にまとめていきました。最後に、まとめたことを発表し

てワークを終了しました。短時間で、テーマを決め、話し合い、まとめ（合意形成）をして、結果をプレゼンするという業務にも関連する事柄のよい研鑽になりました。



3) 修習技術者業績発表 山本惟由(機械部門 修習技術者)

修習技術者の山本氏には、射出成形機の設計開発時間の短縮のためのツールの開発について発表していただきました。



このツールを開発で、ベテラン技術者の暗黙知の形式知化やトグルリンクの組み合わせの検証作業の並行処理数を増やすことにより、検討時間を 80h→4hまで短縮することができ、開発時間を大幅に短縮することができたということでした。機械部門に関しては、門外漢であるため十分に内容を理解することはできませんでしたが、暗黙知の形式知化の重要性について改めて認識させられました。

4) 懇親会

研修会終了後は中国本部事務所に場所を移し、参加者の親睦を深めるために懇親会を開催しました。亀田委員長の乾杯の発声で会は始まり、講演や発表後の質問時間では質問できなかったことを尋ねたり、ワークショップのふりかえりをしたりと、有意義な時間でした。



これからも技術者研修セミナーは、技術士や修習技術者の勉強の場や情報交換の場として開催していきます。多数の方々の参加をお待ちしております。

以上